

かじゅ 座光寺の果樹と野菜について教えて！

長野県は恵まれた気候・立地条件を生かし、全国でも有数な果樹の生産地として発展してきました。この座光寺地区も古くから三大果樹と言われる「もも」「なし」「りんご」の栽培がさかんな地域です。春には桃のピンクの花、なしいりんごの白い花とその風景はとても美しいです。果樹栽培は安全な果物を消費者に送る農産物の生産だけでなく、「ふるさと座光寺」の景観を保っている大きな役目もしています。果樹地帯は中段から原・宮崎地区の上段に集中しています。

野菜栽培は、天竜川に近しい下段で多く作られておりビニールハウスも数多く見られます。では果物がどのようにして作られているのか一年の作業のようすと野菜栽培について見てみましょう。

果樹・野菜栽培農家の一年は？

せんてい作業

収穫が終ると来年、さらに次の年と丈夫な木を育てるために栄養となる肥料をまき、そのあとせんてい作業に入ります。品質の良い充実したおいしい果物が育つためには、余分な枝を取り去り、木全体に太陽の光が当たるようにします。時期は収穫が終り新しい芽が出てくる前の冬の間に作業します。

受粉（花粉け）作業

花にはおしべとめしべがあることは知っていますね。充実した実をつけるためには、おしべの花粉が、めしべにきちんと付くことが大切なんです。蜜ばちやちょうちんなど昆虫も花から花へ飛んでその役割をしてくれますが完全ではありません。

ですから前もって他の木からとった花粉を丁字棒という棒の先にやわらかな毛のついた道具を使っていねいに花粉け（口受粉）します。

摘果作業とは何？

なしいりんごは花粉けすると一つの果そう（花のついた節）にいくつもの実が付きまします。大きく丈夫な果物をつくるには、大きく形の良い病気のない実を残すことが大切です。又摘果することで木に養分を残した年によく花が咲くようにする役目もしています。そのため一本の枝や木全体に適度な数の実を残して余分な実を取り除きます。それが摘果作業です。



なしの花付作業

袋掛け作業

袋掛けは一部の品種によって行われます。その目的は色づきを良くし、果面を保護するなど外観を良くすること、害虫や病気から守るために行います。小袋と大袋と2回掛けするものや大袋だけのものいろいろあります。小さな実の一つ一つ

掛ける手間のかかる作業です。過去には、中学生の野外学習（授農作業）として、梨の小袋掛けも行われていました。収穫前になると役目をおえた袋は取り除かれます。

日をよくあてるための作業

果実に太陽光が良くあたる色が良くつきます。10月ころに全体に色がつくよう陰になっている枝や葉を取り除き、果実を回して反対側にも光が当たるようにします。下からも光があたるように反射シートも敷きます。

収穫

果物は年に1回しかできません。ですからこの時期は忙しい中にも生産する農家の皆さんにとって一番喜び深い時です。消費者に良いおいしい果物を供給するためには、色、大きさなど充実した果実から収穫します。早すぎても遅すぎてもだめなので適期に収穫できるようにすることが大切なポイントです。



収穫前の除袋作業



ももの収穫

出荷

収穫された果物は共同選果場に集められ、大きさ・色・糖度などにより選別されます。最近は光センサーといって果実に光線をあてて品質を見分けています。選別された果物は荷造りして、東京、名古屋、大阪、九州他全国各地の市場やスーパー、百貨店などに送られています。



選果作業

その他の作業

大切な果物を害虫や病原菌から守るために、一年を通して決められた時期に決められた農薬を散布する消毒作業があります。又元気な木を育てるために肥料も与えます。凍霜害や台風など自然災害についても注意しなければなりません。又収穫の間近しい果実を食べたり荒らしたりする、鳥や猿・鹿・熊など動物の被害から守るのも大変苦勞する仕事です。

果樹作業の1年



まとめ

これが果樹栽培の一年間の作業です。このように一つの果物に、安全で安心して食べてもらえるよう、農家の皆さんが一年かけて丹精こめて作っています。皆さんもこの地域で採れたおいしい果実をたくさん食べて元気に暮らしましょう。

野菜栽培は？

野菜づくりは地区の下段で多く栽培されています。野菜は健康な体をつくり上げるのに大切な栄養分をたくさん含んでいます。皆さんも好き嫌いをなくしてたくさん食べて元気に生活しよう。この地区の農家でもいろんな野菜が栽培されています。

どんな野菜が多くつくられているのかな？

一番多いのはきゅうり 4月から11月に収穫
二番目はメロン 8月から9月に収穫
三番目はアスパラ 3月から10月に収穫
その他にもサニーレタス・グリーンレタス・青ネギ・パセリなど作られ市場に出荷されています。また家庭菜園では、大根・白菜・ピーマン・トマト・菜類など数多く作られています。

きゅうりが一番多く作られているのはなぜ？

作物には地方に適した気象条件があります。きゅうりはこの飯田下伊那地方の気候にいはん合った作物であり、多くの農家で栽培されています。



収穫を待つキュウリ

野菜作りで苦勞することって何？

消費者に新鮮で安全な野菜を供給しなければなりません。そのためには、病気や害虫から守るために消毒をしなければなりません。皆さんが安心して食べられる野菜を作ることが一番の苦勞です。又、野菜が生育するには、適度な温度と水分が必要であり、暑すぎてもだめ、寒すぎてもだめです。特にハウス内の温度や水管理には苦勞します。それからハウス栽培が多いため、暑いハウス内での作業であったり、寒い外から暖かいハウス内への出入りの作業も多くあり、作物の生育管理に合わせて自分の健康管理にも心掛けなければなりません。

野菜の収穫時期

